

19. 第20回高木レクチャーについて

第20回高木レクチャー（2017年11月，東京）の予定をお知らせいたします。

高木貞治先生の名を冠した講演会「高木レクチャー」は，卓越した数学者を日本に招聘し，創造のインスピレーションを引き起こすような気概に満ちた研究総説講演を行っていただき，日本発の新たな数学の創造に寄与することを目的としています．講演は専門分野を越えた数学者や若手研究者・大学院生を主な対象として行われます．高木レクチャーをもとに書き下ろした研究総説は，講演の当日に「高木ブックレット」として配布され，その後，加筆修正された原稿は査読を経て **Japanese Journal of Mathematics (JJM)** に掲載されることになっています．

この趣旨に基づいた「高木レクチャー」の創設が2006年3月26日（日），日本数学会評議員会で承認され，2006年11月に第1回高木レクチャーが京都大学数理解析研究所で開催されました．

第20回高木レクチャーは，
日時：2017年11月4日（土）
場所：東京大学大学院数理科学研究科
講演者：

- Martin Hairer
(Imperial College London)
“Renormalisation of parabolic stochastic PDEs”
(放物型確率偏微分方程式の繰り込み)
- Andrei Okounkov
(Columbia Univ.・京都大学)
“The Donaldson--Thomas theory of threefolds, or why is it interesting to count sheaves?”
(3次元多様体のドナルドソン・トーマス理論、または、なぜ層の数え上げがおもしろいのか?)

主催：日本数学会
東京大学大学院数理科学研究科
組織委員：小野薫，河東泰之，小林俊行，
斎藤毅，中島啓
の予定で開催いたします。

講演はそれぞれ2回ずつ行われます．最新

情報は高木レクチャーのHP

http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/~toshi/takagi_jp/

をご覧ください。

JJMは，2006年に廃刊の危機を乗り越え，3rd Seriesとして「新しい創造を引き起こすような研究総説論文」を掲載するジャーナルとして生まれ変わりました．

ジャーナルのホームページ

<http://www.springer.jp/JJM/>

では，最新の情報とともに，JJM 3rd Seriesに掲載された論文のアブストラクトの和訳も掲載しています．

(小林俊行 記)